

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第21週[5月23日～5月29日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/  
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

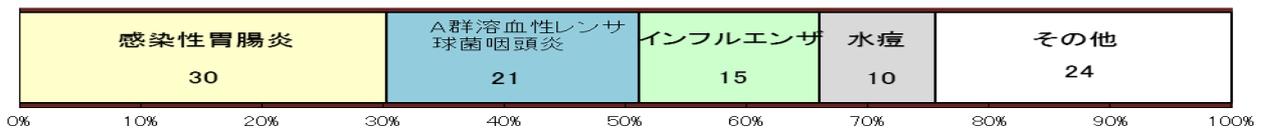
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 週のはじめは晴れたが、後半は雨が続き梅雨入りとなり、週末は台風の影響で大荒れとなった。
- 感染性胃腸炎は中央西で2倍に増加したが、その他の地域で減少し、総数は前週の横ばいであった。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（高知市：注意報→注意報，高幡：注意報値→注意報，幡多：注意報→注意報）は幡多と中央東で減少したが、その他の地域で増加し、総数はさらに増加した。
- インフルエンザは高知市，中央東，安芸で減少し、総数は引き続き減少した。増加している地域もあるが、今後も終息に向かって減少していくと思われる。
- 水痘（高幡：注意報）は幡多と中央西で増加したが、その他の地域で減少し、さらに減少した。
- 手足口病とヘルパンギーナは夏型疾患であり注目されているが、今週は減少した。

上位疾患構成図

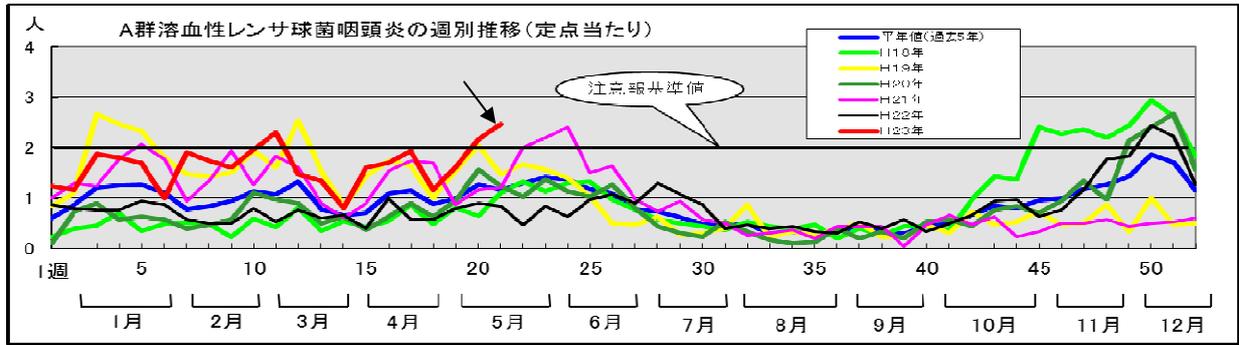


## 地域別感染症注意報・警報発生状況 第21報（2011年5月23日～2011年5月29日）



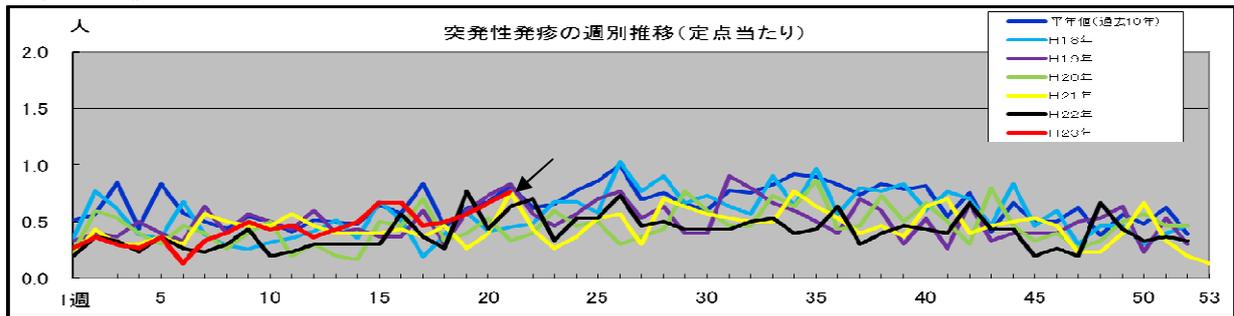
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週 2.47（注意報値：2.00 警報値：4.00）

今年に入り、第11週に注意報値を超したが、その他は注意報値を下回る報告数で推移していた。先週再び注意報値を超し、さらに増加を続けている。地域毎にみると、高知市、高幡、幡多で引き続き注意報値を超している。年齢別では、4～7歳からの報告が多く、もうしばらくは注意が必要である。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行する。



**突発性発疹：今週 0.77 (注意報値：2.00 警報値：4.00)**

第17週以降増加を続けている。季節性のない疾患で、通年報告数の大幅な増減はみられない。総数は例年と同程度の報告数であるが、地域毎にみると中央西と高幡で注意報値を超しており、今後の推移が注目される。



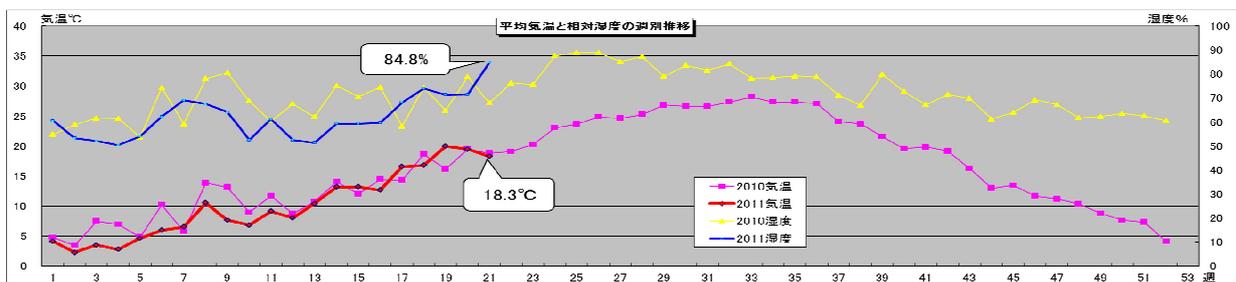
**検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
17	伝染性紅斑	11歳 男	高知市	Parvovirus B19
21	感染性胃腸炎	3カ月 男	高知市	Rotavirus group A NT
21	インフルエンザ	11歳 男	高知市	Influenza virus B NT
21	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 4例（20代男，30代女）《高知市》（80代女）《安芸》（60代男）《幡多》（今年57例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

**幡多：**

《さたけ小児科》：インフルエンザの6例は全てB型陽性 膿痂疹 1例（2歳女）  
マイコプラズマ感染症 2例（3, 12歳女）

《こいけクリニック》：インフルエンザの1例はB型陽性

**高幡：**

《もりはた小児科》：インフルエンザの10例は全てB型陽性，予防接種歴ありは2例  
アデノウイルス感染症（滲出性扁桃炎）5例（1～6歳）  
感染性胃腸炎の5例中3例（4歳女：2例，10歳男）はカンピロバクター腸炎  
マイコプラズマ肺炎 2例（2歳男，3歳女）

**中央西：**

《石黒小児科》：単純ヘルペス 1例（6歳女）  
《日高クリニック》：突発性発疹の2例中1例は高知市

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《高北病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

**高知市：**

《細木病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《福井小児科内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの6例は全てB型陽性，予防接種歴ありは2例  
アデノウイルス扁桃炎 4例（0～1歳男女） 帯状疱疹 1例（2歳男）  
病原性大腸菌 2例（5歳男：0-18，8歳：0-1）ともにベロ毒素陰性

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの2例はB型陽性

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの3例はB型陽性

《細木病院内科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《高知医療センター内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

**中央東：**

《高知大学医学部付属病院小児科》：インフルエンザの3例中1例はB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの1例はB型陽性

《早明浦病院小児科》：手足口病，ヘルパンギーナが増加

**全国情報第19週（5/9～5/15）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）**

2類感染症：急性灰白髄炎1例（ワクチン株由来）、結核391例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症56例（有症者44例、うちHUS 5例）

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎5例、つつが虫病8例、デング熱1例、マラリア2例、レジオネラ症11例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌  
感染症2例、後天性免疫不全症候群12例〔AIDS 3例（うち1例死亡）、無症候9例〕、ジアルジア  
症1例、梅毒8例、破傷風5例、風しん12例、麻しん28例

報告遅れ：急性脳炎8例、風しん3例

◆麻しん2011年第1～19週（2011年5月18日現在）

2011年第15週に、当該週の報告数が急増したことを報告したが、その後第19週まで、5月3～5日の連休があった第18週を除き、麻しんの報告数は30例前後で推移している。

2011年第1～19週（2011年1月3日～2011年5月15日診断のもの、2011年5月18日現在）に報告された麻しん累積報告数は230例であった。第15週以降の各週の報告数はそれぞれ、27例、23例、39例、14例、28例であり、第17週の39例は、2009年以降の週別報告数では最多となった。

都道府県別累積報告数では、第19週までに28都道府県から報告されており、東京都103例、神奈川県24例、広島県20例、埼玉県12例、千葉県12例、愛知県11例の順であった。人口100万人当たり報告数でみると、東京都8.00、広島県6.99、青森県3.63、神奈川県2.68、山梨県2.31、愛媛県2.09であった。

病型別累積報告数では、臨床診断例67例（29.1%）、検査診断例121例（52.6%）、修飾麻しん（検査診断例）42例（18.3%）と、検査診断例が70.9%を占めている。都道府県別に修飾麻しんを含む検査診断例の割合をみると、報告があった28都道府県中、24都道府県で検査診断例が50%以上であった。検査診断例のうち、分離・同定による病原体の検出やPCR法による病原体遺伝子の検出などのウイルス学的検査の都道府県別実施率をみると、最も症例数の多い東京都において76.3%となっていることは特筆すべきだろう。さらに、図4や感染症発生动向調査の報告数には反映されていない、ウイルス学的検査が陰性であった症例を含めると、各自治体における麻しんのウイルス学的検査実施数は、図4に示した値よりも高いと思われる。年齢群別累積報告数を10歳毎でみると、0～9歳87例（37.8%）、20～29歳47例（20.4%）、10～19歳42例（18.3%）、30～39歳34例（14.8%）の順であった。年齢別では、1歳23例、3歳13例、0歳12例、11歳10例、2歳9例の順であった。性別では、男性127例（55.2%）、女性103例（44.8%）であった。

感染地域別累積報告数では、国外とされたもの22例（9.6%）、国内①（国外例と疫学的に関連）15例（6.5%）、国内②（国外例との疫学的関連は認められなかったが遺伝子型がD5以外のもの）51例（22.2%）、国内③（①、②以外、遺伝子型不明を含む）140例（60.9%）、国内または国外1例（0.4%）、国内・国外不明1例（0.4%）であった。麻しんウイルスの遺伝子型は76例で報告されており、D4型45例（59.2%）が最多で、次いでD9型25例（32.9%）、D8型5例（6.6%）、G3型1例（1.3%）であった。感染地域別にみると、国外感染例および、国外と疫学的関連が認められた症例ではD9型が最も多かった。一方、国内で感染し、明らかな国外例との疫学的関連を認めないものの、遺伝子型がD5型以外であった症例は51例あり、そのなかではD4型が40例と大半を占めていた。なお、地方衛生研究所（地研）から送られたウイルス分離・検出状況について、海外渡航歴を含み、当センターのホームページ上で随時更新されているので参照していただきたい

（<http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>）。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計) H23/1/3~H23/5/29	
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ		13	22	2	10	7	54 ( 1.13)	84 ( 1.75)	7,931 ( 1.62)	12,287 ( 255.98)	
小児科	咽頭結膜熱			1	2			3 ( 0.10)	4 ( 0.13)	1,503 ( 0.48)	134 ( 4.47)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	7	43	3	7	12	74 ( 2.47)	65 ( 2.17)	7,412 ( 2.36)	1,035 ( 34.50)	
	感染性胃腸炎	11	20	42	21	5	9	108 ( 3.60)	109 ( 3.63)	19,528 ( 6.22)	5,411 ( 180.37)	
	水痘	2	3	13	5	4	7	34 ( 1.13)	40 ( 1.33)	4,911 ( 1.56)	1,069 ( 35.63)	
	手足口病	2	5	16			1	24 ( 0.80)	30 ( 1.00)	2,033 ( 0.65)	232 ( 7.73)	
	伝染性紅斑		3	7	1			1	12 ( 0.40)	12 ( 0.40)	2,880 ( 0.92)	161 ( 5.37)
	突発性発疹		5	5	6	4	3	23 ( 0.77)	20 ( 0.67)	1,973 ( 0.63)	283 ( 9.43)	
	百日咳									79 ( 0.03)	9 ( 0.30)	
	ヘルパンギーナ		3	6	1	1		11 ( 0.37)	16 ( 0.53)	582 ( 0.19)	87 ( 2.90)	
	流行性耳下腺炎			2				8	10 ( 0.33)	15 ( 0.50)	2,845 ( 0.91)	149 ( 4.97)
	RSウイルス感染症								3 ( 0.10)	335 ( 0.11)	557 ( 18.57)	
眼科	急性出血性結膜炎									6 ( 0.01)	( 0.00)	
	流行性角結膜炎			2				2 ( 0.67)	2 ( 0.67)	405 ( 0.60)	21 ( 7.00)	
基幹	細菌性髄膜炎									10 ( 0.02)	2 ( 0.29)	
	無菌性髄膜炎									14 ( 0.03)	9 ( 1.29)	
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.29)	2 ( 0.29)	184 ( 0.40)	37 ( 5.29)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									9 ( 0.02)	2 ( 0.29)	
計 (小児科定点当たり人数)		17 ( 8.50)	59 ( 7.75)	161 ( 13.65)	41 ( 13.40)	32 ( 13.50)	47 ( 8.88)	357 ( 11.09)				
前週 (小児科定点当たり人数)		25 ( 11.75)	78 ( 10.10)	192 ( 15.90)	25 ( 8.07)	27 ( 11.25)	55 ( 10.40)		402 ( 12.22)	52,640	21,485 ( 560.21)	

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(20週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ		1.18	1.38	0.40	2.50	0.88	1.13	1.75	1.62
小児科	咽頭結膜熱			0.09	0.67			0.10	0.13	0.48
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	3.91	1.00	3.50	2.40	2.47	2.17	2.36
	感染性胃腸炎	5.50	2.86	3.82	7.00	2.50	1.80	3.60	3.63	6.22
	水痘	1.00	0.43	1.18	1.67	2.00	1.40	1.13	1.33	1.56
	手足口病	1.00	0.71	1.45		0.50		0.80	1.00	0.65
	伝染性紅斑		0.43	0.64	0.33		0.20	0.40	0.40	0.92
	突発性発疹		0.71	0.45	2.00	2.00	0.60	0.77	0.67	0.63
	百日咳									0.03
	ヘルパンギーナ		0.43	0.55	0.33	0.50		0.37	0.53	0.19
	流行性耳下腺炎			0.18			1.60	0.33	0.50	0.91
	RSウイルス感染症								0.10	0.11
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.67	0.60
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.03
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	0.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		8.50	7.75	13.65	13.40	13.50	8.88	11.09		
前週 (小児科定点当たり人数)		11.75	10.10	15.90	8.07	11.25	10.40		12.22	

## 2011年週報推移(定点当たり)

